

# まちの日記帳



## 過酷な救助活動に備え

小泊海岸で水難救助訓練を実施

8/27

8/28

夏休みも終わり、レジャー客の来町も落ち着きを見せはじめた小泊海岸で、北後志消防組合積丹支署の消防士による水難救助訓練が行われました。

実際の水難事故を想定した内容で2日間行われたこの訓練は、事前に行われたレスキューボードやレスキューチューブを使用した1週間に渡る基礎訓練を実践するもので、消防士の皆さんは大きな声を張り上げ、懸命に訓練を行っていました。

町民の皆さんに頼られる存在として、日夜職務に励んでいる消防士の皆さんに感謝を申し上げます。



## 温かい社会福祉の実現を目指して 第67回小樽・後志社会福祉大会

8/27

総合文化センターで「心の通う温かい社会福祉の推進！・住民の手で地域福祉の実現を！」をスローガンに掲げた「第67回小樽・後志社会福祉大会」が行われ、各市町村の民生委員や関係団体など、約300名が参加しました。

各市町村の功労者表彰の後、「積丹町の舞踊」として美国婦人会（戸来和子会長）がよさこいソーランを披露したほか、記念講演として「社会福祉法人 栗山ゆりの会 ハコ-ENJOY」の橘文也さんによる「唄と笑いはいいもんだ」と題した講演が行われ、軽妙な語り口に会場は笑いに包まれ、温かい雰囲気の大大会となりました。



## 原子力防災への知識を深める

原子力防災訓練事前学習会が開催

9/3

10月8日に開催される大規模な原子力防災訓練のための事前学習会が、美国小学校と野塚地区ふれあい交流館の2カ所で開催され、町内各小学校の4年生以上の児童と関係機関が参加しました。

札幌医科大学附属病院放射線部の武田浩光主任技師を講師に迎え、放射線の性質や被ばくについて、そして放射線量測定機を用いた測定とコインを使用した放射線の遮へい等の実験を行い、参加者の皆さんは機器に表示される数値の変動に大きな関心を寄せていました。

この学習会で得た知識が、今後の原子力防災への意識の向上に繋がることを願っています。



## それぞれの感性が光る

### 第4回少年教室「俳句で遊ぼう」

9/7

美国踏青俳句会の成田智世子さんを講師に迎え、第4回少年教室「俳句で遊ぼう」が開催され、町内の小学生4名が参加しました。

参加者はすがすがしい初秋の空のもと、神威岬を散策して昆虫や動物、自然の風景等を観察し、俳句の題材集めを行った後にそれぞれ嗜好を凝らした俳句を詠みました。

子ども達が詠んだ題材や言葉の選択は大人には見られない優れた感性だと講師の成田さんも驚きを見せていました。

今回詠まれた句は、積丹町文化祭（展示の部）への出展が予定されています。



## 一生懸命走って！ 踊って！

### 第42回びくに保育所運動会

9/7

びくに保育所運動会が晴天の下、美国町「憩いの広場」で開催され、23名の園児が走って踊ってと大活躍しました。

お父さんとお母さんに見守られながら一生懸命かけっこや玉入れ、お遊戯や綱引きなどに取り組んだ児童たちには会場から沢山の拍手や歓声が飛び交いました。

また、保護者の方々が参加する種目では、今度は子ども達からの声援が飛び交い、和やかな雰囲気親子一緒に汗を流しました。

最後には保育所長から頑張った証しとしてメダルが贈られ、園児たちはとても誇らしそうにしていました。



## 積丹の“味”をアピール

### 「さっぽろオータムフェスト2013」

9/13

9/17

札幌市大通公園で開催された「さっぽろオータムフェスト2013」に今年も積丹観光協会が出店し、ザンギやウ二焼き、珍味などを販売し、積丹の『食』のPRを行いました。

積丹町は道内100以上の市町村が出店する8丁目会場の「札幌大通ふるさと市場」に出店し、来場者が会場を埋め尽くし、大盛況でした。

本イベントへの出店は今回で6回目となりますが、このような町外に出向いての宣伝活動により、町外の方の積丹町への関心がより高まり、多くの方々が積丹町を訪れることを期待しています。



# まちの日記帳